

<実践報告>

初心者向け字幕翻訳ワークショップー実践報告

A Report on a Subtitle Translation Workshop for Beginners

小倉 峰子

Mineko Ogura

(フリーランス通訳者)

(Freelance interpreter)

Abstract

The main purpose of this paper is to report on a translation workshop on film subtitling. The workshop held by the author was targeted for beginners to acquire not only translation skills but also to experience the technical processes using a subtitle editing tool, Subtitle Workshop. The paper discusses the problems that the beginners encountered during the technical processes and the common mistakes often seen in their translation processes. Hence, the paper describes the crucial points when teaching subtitle translation to beginners.

はじめに

本稿は大学生・院生・社会人を対象にした、初心者向け字幕翻訳ワークショップについての実践報告である。本ワークショップは、筆者が自身の修士論文である「ドキュメンタリー映画 *First Person Plural* (Directed by Deann Borshay Liem) 字幕翻訳プロジェクト」での経験を基に、実践的指導を行ったものである。修士論文では、前述の映画に字幕翻訳を完成させ、字幕作成に必要なソフトの操作や手順を述べながら、各プロセスで直面した問題点を考察しまとめている。本稿では、筆者が培った字幕作成のノウハウを生かし、指導しながら、学習者が直面した問題点を指摘、考察することで、指導上の工夫や問題点を振り返り、今後指導をする上での改善点をまとめることにする。またこの報告に含まれる実践上の問題点を明確にすることで、今後、字幕翻訳を語学教育の一環として取り入れたいと考える指導者において、参考の一助となることを期待したい。

1. 活動概要

本ワークショップは筆者が修士論文の翻訳プロジェクトで *First Person Plural* の日本語字幕を作成した後、その続編である *In the Matter of Cha Jung Hee* (全編 62 分) についても字幕作成を監督から依頼されたことから始まった。参加者は、協力を申し出た大学生(アメリカ人留学生 1 名を含む 2 年生から 4 年生の 7 名)、社会人(2 名)、大学院生(2 名)、大学院聴講生(1 名)の計 12 名である。参加者はほぼ全員字幕初心者で、

語学力における知識やバックグラウンドも異なる。筆者に加え、字幕作成経験のあるメンバー1名がリーダーとなり、事前準備や指導、課題のとりまとめを行った。ワークショップは主に月1回90分で、2015年5月より開始し、2016年4月の字幕翻訳完成試写会を目標として作業を行った。

2. 目的

本ワークショップでは、字幕翻訳に特有の要素だけに留まらず、学習者には、機械操作も含めた字幕作成の技術的プロセスにも参加してもらうことで、体験的に字幕翻訳のプロセスを習得してもらうことを目的とした。また技術的プロセスから字幕作りに参加することで、完成後に作品を作り上げたという達成感を学習者に体感してもらい、個人でも字幕作成ができるようになることを目標に掲げた。本ワークショップは履修科目としての位置付けではないため、気軽に参加しながら、学部生にとっては、院生をはじめ翻訳上級者と共に学ぶ機会でもあり、大学のクラスでは味わうことのできない環境で、翻訳を楽しく学べる場となるよう心がけている。また学習者には、字幕翻訳を通して、語学力だけでなく、作品のもつメッセージや異文化を理解し、翻訳方略を身につけることでコミュニケーション能力を養うワークショップとなることを期待したい。

さらに筆者にとっては、修士論文の字幕翻訳プロジェクトで習得した字幕の技術的プロセスを、本作品で実践応用し、指導の立場から新たに見える問題点を指摘し、改善することを目的とする。本稿が、字幕翻訳の指導を視野に入れている指導者へのきっかけとなり得ることを期待したい。

3. 指導計画

トランスクリプトを24のシーンに分割し、学習者12名が映画の前半および後半で、それぞれ1箇所ずつ計2回担当できるように割り当てた。作業は個人作業を主とするため、筆者が音声動画を準備し配布している。学習者は各自、次の活動日までに課題を提出する形で、計画的に進める。翻訳作業については、映画の前半と後半で区切り、それぞれの終わりに個人作業したファイルを回収し、一つにまとめている。具体的な授業計画は表1に示す通りである。字幕作成ソフトはSubtitle Workshop(SWS)を使用し、字幕ファイルはsrt形式を用いる。また前編の*First Person Plural*と固有名詞(綴り)や語彙を統一するために、筆者が作成したグロスリーを配布し、初出の用語も随時追加することで、学習者が情報を共有できるように指導している。

表1 指導計画

	日程	内容	次回までの課題
第1回	5/23/2015	字幕について <i>First Person Plural</i> の作品紹介 <i>In the Matter of Cha Jung Hee</i>	作品冒頭のハコ割り演習

		上映会	
第 2 回	7/4/2015	字幕のルール 担当箇所の分担	担当箇所のハコ割りを完成させ、素訳をする。 SWS をダウンロードする
第 3 回	8/8/2015	ハコ割りおよび素訳に関する疑問点をディスカッション	ハコ割りの変更 素訳の見直し
第 4 回	9/5/2015	学習者のハコ割りで、筆者がスポッティングしたものの上映 ハコ割りの比較	スポッティングの予習
第 5 回	10/12/2015	初めてのスポッティング (大学の CALL 教室)	担当箇所のスポッティングを精緻化する
第 6 回	11/21/2015	字幕のルール	字幕のルールを復習
第 7 回	12/3/2015	スポッティング修正	前半の字幕翻訳
第 8 回	1/23/2016	前半の字幕上映 ディスカッション	前半の字幕修正 後半の字幕翻訳
第 9 回	2/27/2016	後半の字幕上映 ディスカッション	後半の字幕修正
第 10 回	3/26/2016	字幕最終調整	字幕最終修正
第 11 回	2016 年 4 月中旬	完成字幕の上映会	

4. 字幕作成のルール

以下に示すルールや技法は、筆者の修士論文「ドキュメンタリー映画 *First Person Plural* (Directed by Deann Borshay) 字幕翻訳プロジェクト」より、一部を抜粋・改稿したものである(小倉 2014, pp.7-9)。字幕のルールは、短時間で観客が効率的に読めるように決められており、字幕作成者はルールに則り、翻訳をすることが求められる。学習者は、以下のルールを守り、多くの制約の中で翻訳を強いられることで、翻訳方略を見出す鍛錬となるであろう。以下のルールおよび字幕の技法は岡枝,1988; 岡枝,1991; 染谷, 2013; 染谷, 2014; 太田,2007; 太田,2013a; 太田, 2013b から抽出した。

- 1 秒 4 文字(岡枝 1988, p.18)
- 横字幕は、1 行の字数は 12~13 文字、最大行数は 2 行とする(染谷 2013, p.1)。これ以上、文字を入れることを「画面を食う」という(岡枝 1991, p87)。
- 句読点はいれない。句点は全角スペース、読点は半角スペースとする。スペースは字数には数えないが、物理的に場所をとるので「字幕幅」としてカウントに入れる(染

谷 2013, p.1)。字幕を読みやすくするため、例が示すように適宜半角スペースを入れてもよい。

(例)相当無理したようだ→相当 無理したようだ

- 1 文字としてカウントするもの(染谷 2013, p.1):
小さい「っ」「う」など(例)アルファベット→7 文字となる。
音引き(ー)(例)デニース→4 文字となる。
- 1 文字としてカウントしないもの(染谷 2013, p.1):
「!」「?」「・」(中黒)「...」(3 点リーダー)「—」(ダッシュ:次の字幕に続くことを意味する)
ただし、これらも字幕幅としてはカウントする。
- 数字:1 ケタは全角、2 ケタ以上は半角(染谷 2013, p.1)(例)6月→2 文字となる。
1956 年→3 文字となる。
- 字幕が 1 枚に収まらない場合:長いセリフを「2 つに割る」と言う(岡枝 1991, pp.287-288)。「—」(ダッシュ)を文末に入れることで、字幕が次に続いていることを意味する。ただし明らかに繋がっていることがわかる場合は入れなくてもよい(染谷 2013, p.1)。
(例)最初に会ったとき—
(次の字幕:幼いあなたは硬い表情をしていた)
- イタリック体の使用:音声の人物が画面に出ていない場合で、モノログ、ナレーター、テレビの声、電話の相手の声、看板など(太田 2013a, p.30)
- 1 枚の字幕に 2 人の会話がある場合、「-」(ハイフン)で表示する(染谷 2013, p.1)
(例) - 整形外科で手術したな
- 休暇中にね
- 外国語(英語以外)のセリフ:通常は山括弧に入れる(太田 2013b, p98)(ただし Subtitle Workshop で、山括弧を使用すると、GOM Player などのメディアプレーヤーで映写した場合、字幕が表示されなくなるので本活動では使用しない)。
- 放送禁止用語(差別語・不快語)は使用しない(岡枝 1988, pp.32-33)。該当するかどうかは、インターネットで検索できる。
- 常用漢字の使用:できるだけ読みやすい漢字を使用する(太田 2013a, pp.26-27)。インターネットの常用漢字チェッカーなどを利用する。
- 一般的には字幕は左寄せ(Subtitle Workshop は中央寄せの機能しかない)。
- 字幕が 2 行にわたる場合、意味の切れ目で改行する(染谷 2013, p.1)。
父さんは本当に変わってい
るわ
父さんは本当に
変わっているわ



- ルビ:常用漢字でないもの、或いはセリフ上、本来の読み方をさせないものにはルビを振る(太田 2007, pp.67-71)(Subtitle Workshop にこの機能はない)。

オー ク
(例)櫨の木

- アウト:挨拶、相づち、Yes/No など、あえて字幕にする必要がない場合は、「アウト」とし、表示しないこともできる(岡枝 1988, pp.30-31)。
- 削除(部分訳):原文中の重要な情報を担う「キーワード」を中心に、必要最小限の語数で字幕を構成する(染谷 2014, p.20)。
(例)In May 1981, I decided to write to the Sun Duck Orphanage. (5 秒のセリフを 20 文字で訳す場合)どの情報が重要か見極め、画面から分かる部分は削除する。
- 補完性:前出・後出の字幕(直近字幕)との補完性を利用する(染谷 2014, p.21)
(例)字数の関係で I don't care の訳が 1 枚の字幕に収まらず、次の字幕で補完している。
You didn't come from my mommy's womb, but I don't care.
母さんから 産まれてないとかー
You don't have the family eyes but I don't care.
家族と目が違うなんて 関係ない
- 補足:直訳法では意味が曖昧になったり原文のニュアンスが適切に伝えられない場合、あるいは原文の意味をより明確にするために、必要最小限の補足を加える(染谷 2014, p.20)。
(例)Harry Holt began the operation →「慈善家」ハリー・ホルトが活動を開始した(「慈善家」を補足している)。

5. 字幕作成の手順

字幕作成のプロセスは、SWS での作業に入る前準備として、各種ソフトのインストールや DVD から音声と映像を取り出す「リップング」と呼ばれる準備などが必要である。本ワークショップでは、学習者に SWS での基本操作を学んでもらうことを課題としたため、SWS のダウンロードを各自で行うこととし、その他の諸準備に関しては筆者を含むリーダー 2 名で行うこととした。よって本章では、学習者が取り組んだ「ハコ割り」と「スポッティング」の技術的プロセスを中心とした、指導に直接関係する字幕作成手順について述べる。以下に記す手順は、筆者の修士論文「ドキュメンタリー映画 *First Person Plural* (Directed by Deann Borshay) 字幕翻訳プロジェクト」の一部を改稿したものである(小倉 2014, pp.18~32)。

5.1 ハコ割り

ハコ割りとは、1 枚の字幕に載せるセリフを区切る作業で、以下にハコ割りの例(図 1)とポイントを示す。スクリプトを用意し、映像を見ながら図 1 のように、スクリプトに意味の切れ目のよいところで区切りをつける(スラッシュを入れる)。

■ 保存のしかた

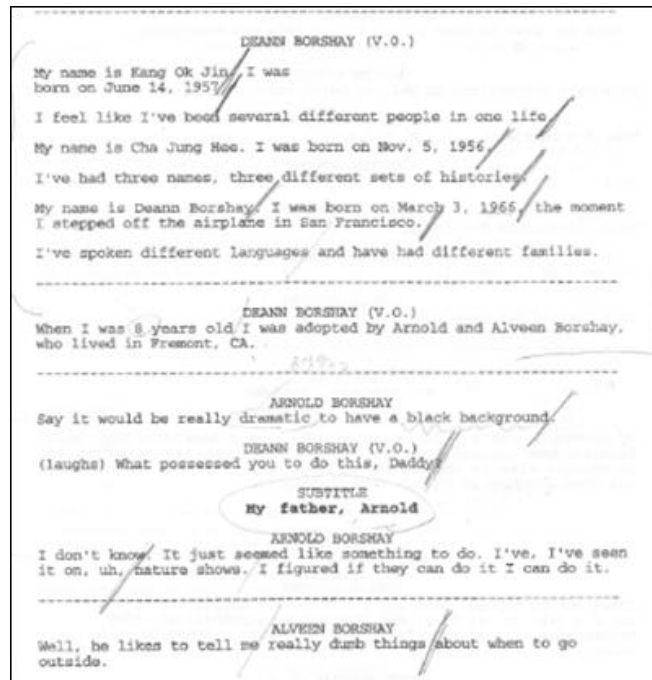
- ① ハコ割りしたものを、エクセルにコピーをし、テキスト形式(*txt)で保存する。
- ② エクセルからハコ割りしたものを、メモ帳に貼り付ける

③ メモ帳から[ファイル]→[名前をつけて保存]

ファイルの種類は「*.txt」、文字コードは「ANSI」で名前をつけて保存する。

ハコ割りの変更は、スポッティング時にも可能である。

図 1 ハコ割り



- ハコ割りのポイント(以下は太田 2013b; 染谷 2013 より抽出している)。
- 間のよいところ(太田 2013b, p.39)
- 会話が長い場合はブレスのあるところ(太田 2013b, p.39)
- 沈黙が 1 秒以上あるところ(太田 2013b, p.39)
- 概ね 6.5 秒以内(1 枚に入る字数は、最大で 1 行 13 文字なので 2 行の場合、 $13 \times 2 = 26$ 文字となる。1 秒 4 文字ルールを適用し $26 \div 4 = 6.5$ 秒となる)(染谷 2013)。ただし、ドキュメンタリー映画の場合は 7 秒以内と考える説もある(映像翻訳.com)。情報量が多いからだと思われる。
- アウトにする箇所は、ハコ割りしなくてもよい。

5.2 素訳

ハコ割りをしたあと、素訳をすることを提案している。素訳をすることで、まずは文脈を正しく理解しているか確認し、情報を整理できると考えるからである。5.1 章のエクセルに保存したハコ割り済みの原文テキストの横に素訳欄を設ける。図 2 のように、原文と素訳が横並びになるように入力し、セルの枠数が右と左で同じになるようにしておく。

図 2 素訳の正しい入力仕方

	F	G
1	原文テキスト	素訳
367	and survived the Korean War,	朝鮮戦争を生き抜くがー
368	only then to be widowed with five children.	果ては5人の子供の未亡人となった
369	I could suddenly see the span of my mother's life in the context of history.	私はそこで初めて 時代を背景とした
370	And I could see that the decision to give me up	母の人生そのものを理解することができた
371	fit into a lifelong struggle to survive.	“生涯にわたる苦勞を生き抜くために
372	I also learned that she looked for me after I left.	“私が去ってから 母が私を探していることを知った
373	When I was about thirteen years old,	私が13才の頃
374	she sent a letter to my home in California	娘 カン・オクジンを探して
375	asking for her daughter Kang Ok Jin.	母はカリフォルニアにいる私に手紙を送ってきた

■ 素訳入力時の留意点

図 3 のように便宜上、センテンスのチャンクごとにまとめて素訳を入力するのではなく、ハコ割り通り素訳を入力する。これは、字幕翻訳を入力する際も同じである。図 3 のようにセル数が違うと、テキストと訳文の両方を SWS で同時表示したい場合、ずれて表示されるからである(SWS 図 4 の⑧と⑨に表示される)。図 3 は、例えば字幕番号 369 と 370、374 と 375 の原文テキストの素訳が、まとめて 1 つのセルに入っている。この状態で SWS に取り込むと、371 の素訳が、上から 4 つ目のセルとして、370 の素訳として横並びで表示されてしまう。以下、ずれが生じる。素訳がしにくい場合でも、空白のセルを作らないために、一時的に訳を入力しておく。

図 3 原文とセルの枠数が合わない素訳の入力例

	F	G
1	原文テキスト	素訳
367	and survived the Korean War,	朝鮮戦争を生き抜くがー
368	only then to be widowed with five children.	果ては5人の子供の未亡人となった
369	I could suddenly see the span of my mother's life in the context of history.	私はそこで初めて 時代を背景とした母の人生 そのものを理解することができた
370	And I could see that the decision to give me up	“生涯にわたる苦勞を生き抜くために
371	fit into a lifelong struggle to survive.	“
372	I also learned that she looked for me after I left.	“私が去ってから 母が私を探していることを知った
373	When I was about thirteen years old,	私が13才の頃
374	she sent a letter to my home in California	娘 カン・オクジンを探して母はカリフォルニアに
375	asking for her daughter Kang Ok Jin.	いる私に手紙を送ってきた

5.3 スポットティング

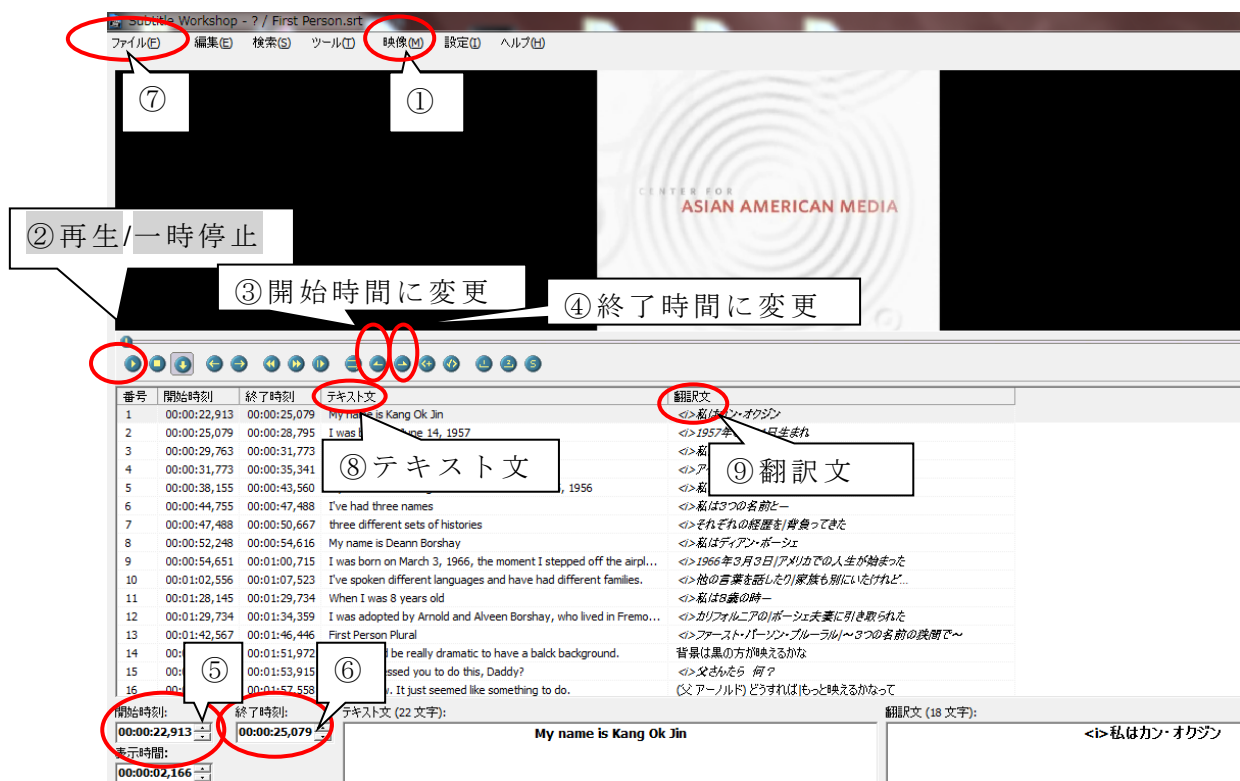
「スポットティング」とは、セリフの長さを測る作業である。SWS で映像を再生し、ハコ割り済みの字幕 1 枚 1 枚に、手動で字幕の開始時間(Spot-in)、終了時間(Spot-out)を設定していく(図 4 のボタンを参照)。

■ 映像を取り込む

①「映像」(図 4 の①)から「ファイルを開く」選ぶ。

- ② 該当するファイルを選ぶ。
 - ③ 映像が画面に映し出される。
- ハコ割り済みのテキストを取り込む。
- ① 「ファイル」(図 4 の⑦)から「開く」を選ぶ。
 - ② 「ファイルの種類」は新規テキスト(*.txt)を選び、該当するファイル名を選択し開く。
 - ③ テキスト文が表示される(図 4 の⑧)。
- 開始時間の設定
- ① 字幕を開始したいタイミングで映像を一旦停止(図 4 の②「再生/一時停止」ボタン)。
 - ② 「開始時間に変更」ボタン(図 4 の③)をクリックし、開始時間を上書きする。
- 終了時間の設定
- ① 映像を再生する(図 4 の②)。
 - ② 終了したいタイミングで映像を一旦停止(図 4 の②)。
 - ③ 「終了時間に変更」ボタン(図 4 の④)で終了時間を上書きする。
- 以上の作業を、字幕 1 枚ずつに行う。
- * スポッティングの精緻化: 作業は手動操作のため、特に出だしの Spot-in は停止のタイミングを合わせにくい。SWS 左下の開始時間(図 4 の⑤)と終了時間(図 4 の⑥)の右横にある上下のいずれかのボタンを操作すると、1 クリックで 100 ミリセカンド単位の変更ができるので、多少調整しやすくなる。上(△印):100 ミリセカンド遅らせる。下(▽印):100 ミリセカンド早める。

図 4 SWS の各種ボタンと主な機能



■ ファイルの保存

スポッティングの終了した字幕ファイルは以下の手順で保存する。

- ① SWS 左上[ファイル](図 4 の⑦)→[名前を付けて保存]→フォーマット形式「SubRip」(字幕ファイルの種類で srt という拡張子で保存される)をダブルクリック。
- ② 任意の保存場所を選んで、ファイル名を入れて保存する。ファイルの種類は SubRip(*srt)とする。

5.4 字幕翻訳

スポッティングが終わると、いよいよ字幕翻訳へと進む。学習者がスポッティングした srt ファイルを回収し、コピーをして一つの srt ファイルにまとめる。srt ファイルは、「秀丸」というテキストエディタを使い、エクセルに変換する(小倉 2014, pp.40～47)。表 2 に、筆者が学習者に配布した字幕翻訳入力用ファイルの一部を示す。

表 2 字幕翻訳入力用のエクセル

A	B	C	D	E	F	G	H	I
字幕番号	Spot-in	Spot-out	Duration	制限字数	原文テキスト	素訳	字幕翻訳	コメント
88	00:37:40.742	00:37:43.416	3	11	I keep searching for the Koren of my childhood.	そこで過ごした幼少期の思い出を探し続けていた。	昔に見た韓国を探している	
89	00:38:10.553	00:38:13.499	3	12	I don't understand the nuances of Korean culture.	韓国文化がどんなものかもわからない。	文化の微妙さがわからない	
90	00:38:13.499	00:38:15.852	2	9	But there's something about the aromas,	でもそこには何かしらの香り	でも匂いー	90,91を1枚にする?
91	00:38:15.852	00:38:18.702	3	11	the food, the colors, and the music,	食べ物、色や音楽といったものに	食、色、音楽の何かが	
92	00:38:18.897	00:38:20.583	2	7	something that feels right.	確かに感じる何かはあった。	しっくりする	
93	00:39:50.903	00:39:55.470	5	18	We found a Cha Jung Hee who lives in the city of Gwangju and decided to go meet her.	チャ・ジャンヒがクワンジュに住んでいると知り、会うことにした。	また別のチャ・ジャンヒに会うことにした	
94	00:39:59.241	00:40:01.357	2	8	Korean Translation	korean translation		
95	00:40:02.761	00:40:04.773	2	8	Korean Translation	korean translation		
96	00:40:05.141	00:40:06.997	2	7	That's not my house.	それは私の家じゃありませんよ。	よその家ですよ	アウト?

学習者は、E 列に示す制限字数を守り(ただし 1～2 文字の超過は許容範囲としている)、H 列に字幕翻訳を入力する。I 列には、コメント欄を設け、学習者が疑問点を入力したり、指導者がコメントを残せるようにしている。字幕翻訳が完成すれば、以下の手順でエクセルから srt ファイルへと変換しなおす。

- ① 表 2 の B 列(spot-in)、C 列(spot-out)、H 列(字幕翻訳)をコピーし、秀丸に貼り付ける。
- ② 置換機能で、検索「¥t」、置換に「¥n」を入力し、「全置換」する。
- ③ 名前をつけて保存する。
- ④ SWS に取り込む際に、ファイルの種類を「すべてのサポートファイル」にして、③のファイルを選択する(注: 翻訳が 2 行にわたる場合、2 行目の訳が 2 重入力されているので、SWS 左上の「編集」から「行削除」を選び 2 行目の訳を削除する)。

その後、5.3 章で述べた手順で映像を取り込むと、完成した日本語字幕の映画を上映することができる。

6. 作成プロセスにおける問題点および改善点

本章では 5 章で述べた字幕作成の各プロセスごとに、学習者が直面した問題点および学習者によく見られたミスを指摘し、適切な指導へとつながるような指導上の工夫と

改善点を考察する。

6.1 字幕作成ソフトのトラブル

本ワークショップでは Subtitle Workshop (SWS) という字幕作成ソフトを使っているが、これ以外にも VirtualDub、Aegisub など他にもいろいろなソフトがあり、それぞれに特徴がある。本稿では SWS を使用した経験に基づいて問題点を挙げる。

6.1.1 字幕作成ソフトをダウンロードできない

そもそも本ワークショップで使用した字幕作成ソフト Subtitle Workshop (SWS) をダウンロードできないという、致命的な問題点が学習者の中からあがった。またコンピュータのバージョンにより、SWS の取り込み機能に差が出ることもある。

■ 指導上の工夫と改善点

SWS を使用しなければならないスポッティングの作業は、SWS がインストールされている大学の CALL 教室のコンピューターを利用することで対策を講じた。しかしながら、スポッティングの作業に限らず、CALL 教室での一時的な操作演習だけでは、学習者が十分に習得できるとは言えない。SWS が問題なくインストールされれば、スポッティングはもとより、字幕翻訳を SWS 上で自由に試写することも可能であり、字幕作成が効率的である。よって、対策には改善の余地があり、さらに工夫する必要がある。

6.1.2 字幕作成ソフトのデメリット

SWS は、機能上、スクリーン下に横字幕でしか字幕を表示できない。人物名や手紙の文章などの画面上のテキストが、セリフと同時に表示される場合、セリフと画面上のテキストの両方の訳を、スクリーン下に表示することになるので、字幕が読みにくなる。縦字幕やスクリーン上部に字幕を表示できれば、区別して表示することもできるが、SWS にはこのような機能がない。

■ 指導上の工夫と改善点：

学習者にはセリフを優先し、画面上のテキストの訳を丸括弧に入れて表示することで、セリフとの区別ができるよう助言はしているが、見場が悪いなどの課題は残る(この例を図 5 に示す)。

図 5 セリフと画面のテキストが同時に表示される場合の字幕の方略例



図 5 のシーンは、前出の字幕からの続きで、“It was a business transaction”というナレーションと共に、画面上に“Application Fee \$5.00”のテキストが表示されている。ナレーションと画面上のテキストを区別する方略として、ナレーションの字幕訳「行われた」を上段に、画面のテキストの日本語訳字幕「申請費用」を下段に丸括弧に入れて表示している。ちなみに、このシーンは 2 秒のため、8 文字が制限字数となっている。“\$ 5.00”の字幕訳は、制限字数を超える上、視覚で理解できるという理由で、学習者の方略として省略したものと思われる。

6.2 ハコ割りに見られる問題点

ハコ割りは一見簡単そうにも見えるが、字幕初心者には難しい作業である。太田によると、ハコ割りは字幕の設計図(2013b, p.37)と述べており、大雑把にハコ割りされたものは、登場人物のセリフと字幕が合わず、流れの悪い字幕となる。

課題初回ではあえて修正はせず、学習者のハコ割りで、筆者が仮スポッティングしたものを上映した。各自でハコ割りしたものが、どのように映像に反映するか、実際に確認することで、学習者にハコ割りの意味を理解してもらうようにした。

6.2.1 短すぎるハコ割りと長すぎるハコ割り

初回のハコ割りの中には、短すぎるものや長すぎるものが見られた。以下にその例を示し、それぞれのスポッティングを、修正前と修正後で比較する。

短すぎるハコ割りの例

They started supporting Cha Jung Hee /through a sponsorship program
/called the Foster Parents' Plan. /
They sent her \$15 a month /and in return /received letters /from Cha
Jung Hee. /

かなり短くハコ割りされている例である。このハコ割りでスポッティングすると、以下のような字幕の長さになる。

表 3 上述のハコ割りをスポッティングしたもの(修正前)

Spot-in (字幕開始) (注 1)mm:ss.m/s	Spot-out (字幕終了) mm:ss.m/s	*Duration (長さ) (注 2)sec	ハコ割り
13:56.4	13:58.5	2	They started supporting Cha Jung Hee/
13:58.6	14:00.5	2	through a sponsorship program/
14:00.5	14:02.1	2	called the Foster Parents' Plan./
14:03.8	14:05.8	2	They sent her \$15 a month/
14:06.3	14:07.5	1	and in return /

14:07.5	14:08.4	1	received letters/
14:08.4	14:09.3	1	from Cha Jung Hee./

*(注 1) mm:ss.m/s は、分:秒.ミリ秒を表す。

*(注 2)Duration は、ミリ秒単位を四捨五入したものを sec(秒)で表している。

表 3 が示すとおり、字幕の長さは全て 2 秒以内である。この字幕で上映すると、画面がパッパと次々変わり、観客にはフラッシュのように映り読みづらい。字幕鑑賞後に修正されたハコ割りのスポッティングを以下に記す。

表 4 修正後のハコ割りでスポッティングしたもの

Spot-in (字幕開始) mm:ss.m/s	Spot-out (字幕終了) mm:ss.m/s	Duration (長さ) sec	ハコ割り
13:56.4	13:58.5	2	They started supporting Cha Jung Hee/
13:58.6	14:02.4	4	through a sponsorship program called the Foster Parents' Plan./
14:03.9	14:07.2	3	They sent her \$15 a month and in return /
14:07.3	14:09.7	2	received letters from Cha Jung Hee./

*スポッティングは手動操作のため、修正前と修正後では、Spot-in および Spot-out に若干時差がある。

表 4 の修正後も、なお短すぎる感は否めないが、少なくとも字幕がパッパと変わるという点は改善された。

長すぎるハコ割りの例

He, rather than my birth mother, gave his consent to my immigration and adoption. /
The shoes completed the deception. /
Looking at these documents made me see my relationship to my adoptive family in a new light. /
Because I wasn' t the child my parents had originally fallen in love with, there was a part of me that always questioned whether I belonged. /
And whether I had a right to accept my family' s love and to love them. /
When my mother was dying, my greatest fear was that she would lose her memory and forget that I was her daughter. /
I asked her one day, "Do you remember who I am?" /
She paused. /

センテンスの切れ目でハコ割りをしているのがわかる。このハコ割りでスポッティングすると以下のような字幕の長さになる。

表 5 上述のハコ割りでスポッティングしたもの（修正前）

Spot-in (字幕開始) mm:ss.m/s	Spot-out (字幕終了) mm:ss.m/s	Duration (長さ) sec	ハコ割り
48:37.7	48:44.7	7	He, rather than my birth mother, gave his consent to my immigration and adoption.
48:50.5	48:52.5	2	The shoes completed the deception.
49:00.6	49:06.6	6	Looking at these documents made me see my relationship to my adoptive family in a new light.
49:12.4	49:23.0	11	Because I wasn't the child my parents had originally fallen in love with, there was a part of me that always questioned whether I belonged.
49:27.1	49:32.6	5	And whether I had a right to accept my family's love and to love them.
49:38.8	49:50.0	11	When my mother was dying, my greatest fear was that she would lose her memory and forget that I was her daughter.
50:02.7	50:05.8	3	I asked her one day, "Do you remember who I am?"
50:07.0	50:08.1	1	She paused.

字幕のルール上、1枚の字幕は6.5秒を超えないように指導をしたにも関わらず、表5示すように、6.5秒以上の字幕が3枚ある。このように長すぎる字幕は、1行に13文字以上が並び、情報量が多くなる。学習者は時間内に読めないことを確認できたであろう。表6は修正後のハコ割りでスポッティングしたものである。

表 6 修正後のハコ割りでスポッティングしたもの

Spot-in (字幕開始) mm:ss.m/s	Spot-out (字幕終了) mm:ss.m/s	Duration (長さ) sec	ハコ割り
48:37.7	48:39.4	2	He, rather than my birth mother,

48:40.0	48:44.6	5	gave his consent to my immigration and adoption.
48:50.5	48:52.5	2	The shoes completed the deception.
49:00.6	49:01.9	1	Looking at these documents
49:02.4	49:06.3	4	made me see my relationship to my adoptive family in a new light.
49:12.4	49:16.6	4	Because I wasn't the child my parents had originally fallen in love with,
49:18.7	49:22.9	4	there was a part of me that always questioned whether I belonged.
49:27.1	49:30.6	3	And whether I had a right to accept my family's love
49:31.4	49:32.3	1	and to love them.
49:38.8	49:40.1	1	When my mother was dying,
49:42.3	49:45.5	3	my greatest fear was that she would lose her memory
49:48.3	49:50.0	2	and forget that I was her daughter.
50:02.7	50:05.8	3	I asked her one day, "Do you remember who I am?"
50:07.0	50:10.6	4	She paused. Then she said,

表 6 が示すとおり、修正後は全て 6.5 秒以内に収めることができた。最後の字幕では、後続の字幕と合体したため、字幕の長さが 1 秒から 4 秒へと変更している。学習者には、1 秒以内のセリフが続いて字幕が画面から瞬時に消えて読みにくくならないよう、ハコ割を修正してもらった。

■ 指導上の工夫と改善点：

このように長すぎるハコ割りや短すぎるハコ割りは、実際にスポッティングした動画を見せることで、学習者にとってより理解しやすいものになると思われる。単に字幕のルールが、6.5 秒以内であるとか、短すぎると画面が次々と転換しすぎて読みにくくなると説明するのではなく、なぜ長すぎるハコ割りは読みにくいのか、またなぜ短すぎるハコ割りが不適切なのかを、字幕のルールと関連付けて視覚的に捉えさせることが重要であると思われる。指導をする上で、学習者にまず両方の例を見せたうえで、ルールの説明をしたほうが効果的であると思われる。

6.2.2 画面上のテキスト

画面に表示される人物名やタイトル、看板、劇中の手紙などのテキストをハコ割りしていないケースが目立った。その一例を以下に記す。

San Kwan Orphanage (Wells Children's Home)
National Welfare Foundation Orphanage
サン・クァン 孤児院

Namyangju Police Station
南楊州市警察署

■ 指導上の工夫と改善点：

画面上のテキストには、トランスクリプトに記載があるもの、ないものもあるが、記載があっても見落としやすいと思われる。或いはセリフ中心で、翻訳の対象になっていなかったのかもしれない。ハコ割りは、映像を見ながら行うが、同時に画面に表示されているものを注意深く観察することも重要である。指導をする上で、このような説明が不足していたと思われる。字幕の対象となる人物名、タイトル、看板等も、セリフと同じくハコ割りすることを事前にしっかりと説明しなければならない。

6.2.3 アウト

映画前半部分においては、アウトとなり得るセリフに対してもハコ割りが見られた。例えば、”Uh-huh” “Yeah” ”Alright”などの相づちである。相づちなどは、字幕にしなくても画面の登場人物からの声のトーンや表情で伝わる場合が多い。学習者の中には、後半部分に進むにつれ、不要なセリフをアウトに変更したいというコメントが多く見られた。前半部分の翻訳を終え、アウトの技法を身につけたと考えられる。

■ 指導上の工夫と改善点：

アウトという技法については、取り上げて説明していたが、アウトとする箇所にハコ割りをしなくてもよいという説明が不十分であったと思われる。特によく用いる技法やルールに関しては、マニュアルにあっても何度も説明をし、注意喚起が必要である。

6.3 スポットティング

スポットティングは、SWS 上での機械操作となるが、各種ボタンの操作手順に関しては、特に問題はなく、作業は順調に進められたと考える。しかし、以下の点において、学習者の中にスポットティングを躊躇する傾向が見受けられた。

6.3.1 外国語字幕

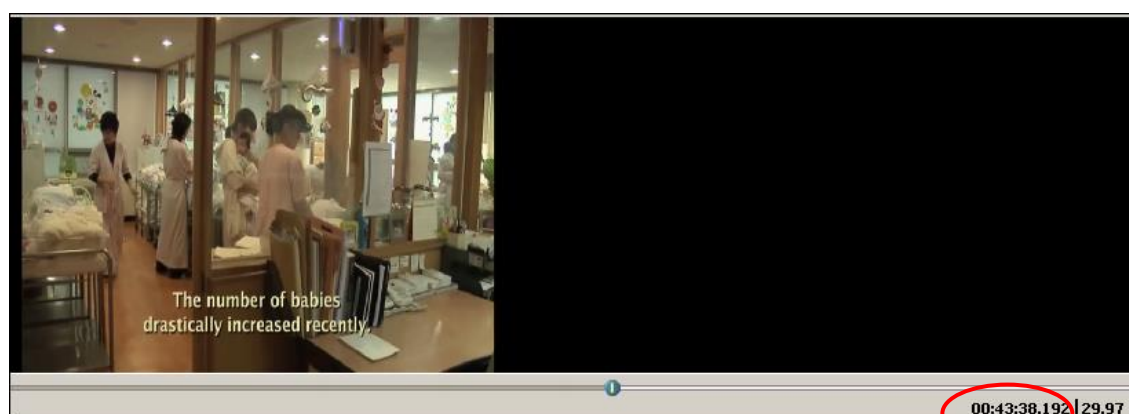
本作品では英語以外に韓国語のセリフがあり、オリジナル版では外国語としての韓国語に、英語字幕がつけられている。しかしながらスポットティングの精緻性に欠け、登場人物の発話開始と英語字幕表示開始時間にタイムラグがあり、字幕の開始時間が概して遅い。以下にその例を示す。

図 6 では、登場人物が韓国語で右下に示す 43:33,822 でセリフを開始している。しかし、この英語字幕が出るのは、シーンが移った図 7 の 43:38,192 である。英語字幕が約 5 秒弱遅れて表示されている。学習者からはスポットティングを字幕に合わせるべきか、発話に合わせるべきかという質問が挙がった。

図 6



図 7



■ 指導上の工夫と改善点：

太田によると、海外の英語字幕の作品は国際映画祭などに出品されるような作品でさえ、音声と字幕のタイミングが合っていない、字幕がいつまでも出ている、またはわずか1秒のセリフに長々とした字幕があると指摘している(太田 2013b, pp.139-142)。日本の字幕が世界のトップレベルとされる理由に字幕のタイミングの正確性が挙げられていることなどから、このような場合、発話に合わせてスポッティングするように指導している。ただし、遅れて英語字幕だけが残ることになるので、課題は残る。

6.3.2 セリフが重なるシーン

ドキュメンタリー映画のため、セリフが重なるシーンも多く、特に劇中の通訳が入るシーンにおいては、韓国語と英語の両方でセリフが重なり合う。セリフが重なるシーンでのスポッティングに苦労したという学習者からのコメントが多かった。例えば図 8 のシーンでは、韓国語のセリフがあり、そのセリフを訳す通訳の声も同時に入ってくる。学習者は、ここでは通訳の声をアウトにしている。

図 8



■ 指導上の工夫と改善点：

会話が 2 人の時はハイフンで区別をすることもできるが、複数の言語が絡み合っている場合、全てのセリフを入れることは不可能である。よってアウトも一つの方略であることを提案しているが、シーンによっては難しいスポッティングとなる。

6.4 訳出に頻出したミス

技術的操作を含む一連の字幕作成プロセスを経て、ようやくメインとも言える字幕翻訳へとタスクが移行したわけだが、概して基本的なルールが守られていないなど初歩的なミスが、学習者に散見された。よって以下に、学習者に頻出したミスをまとめ考察する。

6.4.1 固有名詞の綴りや名称の統一ができていない

例えば、Cha Jung Hee という固有名詞は、チャ・ジャンヒとするとところを、チャ・ジャンヒー、チャ・ジャン・ヒーなどの綴りが見られた。この固有名詞は、前編の *First Person Plural* から登場する頻出の人物名であり、本作品のタイトルでもある。前編と統一させるために、グロサリーにも記載しているのだが、活用できていないとみられる。また本作品で初出の固有名詞についても同じことが言える。例えば、「ISS」という団体名称には、「国際社会事業」と「ISS」の 2 通りの訳出が見られた。グロサリーに追加されていれば、どちらかに用語統一するための議論がなされたはずであり、作品内で異なる訳出が出なかったであろう。

■ 指導上の工夫と改善点：

グロサリーの活用をうまく促せていなかった点に問題があった。グロサリーを作成しただけに留まり、ほぼ放置状態だったとも言える。学習者の間でも、初出の固有名詞なども追加されていなかった。今後、グロサリーだけを配布するのではなく、訳出入力と同じエクセルファイルに入れることで、有効的に活用されるよう改善を図りたい。また作成するだけでなく、活用を促すことも重要であると思われる。

6.4.2 字幕のルールが守られていない。

以下に頻出のミスを挙げる。

- 算用数字の使用 例):(正)500 人 (誤)五百人
- イタリックの使用 登場人物が画面に出ていない場合のナレーションを、イタリックにしていないケースが目立った。
- 1行に13文字以上入力している。疑問符や半角スペースなど「字幕幅」がカウントされていない。また制限字数は守られているが、1行の文字数をオーバーしているケースが多く見られた。制限字数内に収めるためには、文脈を理解し、要約することで、メッセージを正しく伝えるためのコミュニケーション能力が培われたのではないだろうか。
- 放送禁止用語(差別語・不快語)が使われている。
例):Widow→(訳)未亡人
学習者の方略):「寡婦」にすると読みにくく、ルビが必要となる。「ひとりで～」などの工夫が必要。無意識に使っている差別語や不快語も多い。改めて日本語を見直すこともできたのではないだろうか。

■ 指導上の工夫と改善点:

4章で述べたように、字幕には多くのルールがあるため、見落としやすいとも言えるだろう。学習者の中には、制限字数に集中するあまり、訳出だけで精一杯でルールまで注意がいかないようにもとれる。指導においても、字幕のルールはマニュアルを配布しているのだから、学習者は守ってくれるはずだという思い込みがあったとも言える。マニュアルに頼るのではなく、学習者には、必ずルールを再確認するよう、何度も注意を促すことで、字幕のルールに関するミスがなくなるように改善していきたい。

7.まとめ

6章で述べたように、学生が直面した問題点には、第1に字幕作成ソフトのトラブルを始め、ハコ割りやスポッティングなどの各プロセスにおける技術的な問題点があり、第2に字幕翻訳の過程では、字幕のルールに付随する問題点が多く見受けられた。技術面での問題点においては、筆者の経験をもとに対策や助言を与えたが、SWSの機能上の問題点から、見やすい字幕を作成するという点で課題が残る。この点については、さらにリサーチが必要で今後の課題としたい。一方、字幕翻訳に散見されたルールに関連するミスの中には、学習者がよく理解できていなかったルールや技法もあったと言えるだろう。筆者の指導の未熟さでもあり、説明が不十分な点や、マニュアルに書いてあるから読んでいるはずだという思い込みがあったように思われる。学習者がミスを繰り返さないためにも、マニュアル任せではなく、何度も繰り返し字幕のルールを説明し、注意を促すことが、改善につながるのではないかとと思われる。

今後の課題として、訳出のディスカッションに時間をかけることが挙げられる。これは、今回のワークショップがハコ割りやスポッティングに重点を置いたため、訳出のディスカッションに時間が十分確保できなかったからである。そのため、目標に掲げていた異文化の理解やコミュニケーション能力の養成が達成できなかった可能性がある。また字幕に

においては、字面などのビジュアル面も重要視され、漢字とひらがなのバランスのよい組み合わせの工夫が求められるのだが、この点についてはほとんど言及しなかった。今後は、こうしたビジュアル面での推敲についても指導していきたいと考える。

.....

【著者紹介】

小倉峰子(OGURA, Mineko) 2015 年、神戸女学院大学文学研究科英文学専攻通訳・翻訳コース修士課程修了。現在は通訳ガイド他 JICA 研修監理員。

.....

【オリジナル映像】

First Person Plural (2000). Dir. Deann Borshay Liem. Mu Films.

In the Matter of Cha Jung Hee (2010). Dir. Deann Borshay Liem. Mu Films.

【参考文献】

映像翻訳.com(2006)「[字幕翻訳] ハコ書きとスポッティング」[Online]

<http://www.eizou-honyaku.com/category/jimaku/015.html> (2014 年 12 月 30 日)

小倉峰子(2014)「ドキュメンタリー映画 *First Person Plural* (Directed by Deann Borshay Liem) 字幕翻訳プロジェクト」神戸女学院大学大学院文学研究科

岡枝慎二(1988)『スーパー字幕入門』バベル・プレス

岡枝慎二(1991)『映画スラング表現辞典』語学春秋社

太田直子(2007)『字幕屋は銀幕の片隅で日本語が変だと叫ぶ』光文社

太田直子(2013a)『字幕屋のニホンゴ渡世奮闘記』岩波書店

太田直子(2013b)『字幕屋に「、」はない』イカロス出版

染谷泰正(2013)「字幕翻訳入門」2013 年度神戸女学院大学文学研究科通訳・翻訳コース 翻訳実践特別講義 配布資料(2013 年 11 月 3 日)

染谷泰正(2014)「字幕翻訳入門:TILT の実践例として」2014 年度神戸女学院大学文学研究科通訳・翻訳コース 翻訳実践特別講義 配布資料(2014 年 7 月 30 日)

